

統合医療を推進する医療人のための専門情報紙

統合医療ジャーナル

Integrated Medicine Journal

Vol.22 号

発行元：日本医療情報出版
〒101-0021
東京都千代田区外神田 6-5-3
信楽ビル新外神田 5F
TEL.03-5688-7816
FAX.03-5688-7803
info@im-journal.com
隔月 20 日発行
年間購読料 ¥6,480 (消費税込)
振替口座：00140-7-600046

厚労省、「非営利新型法人の創設」等の医療法改正案を提出 経営効率化で病院・診療所・介護施設を一体的に運営 株式会社設立し、健康増進・予防サービス事業を展開

複数の医療法人や介護事業を行う非営利法人を束ねる一般社団法人、「地域医療連携推進法人制度（仮称）」が創設される見通しとなった。これにより、過剰だった急性期病床を適正化させたり、不足ぎみだった回復期病床を充実させるなどの病床再編が可能になるほか、医師・看護師の共同研修、医療機器等の共同利用も可能になる。複数の病院を統括して一体的な経営が行えるようになれば、医療介護総合確保推進法に定められている「地域医療構想」を推進することができ、地方創生にもつながるとして期待されている。医療法改正案は今国会で可決成立する見通しだ。

◆効率的な医療サービスを提供

厚労省が 4 月 3 日に国会に提出した医療法の一部を改正する法律案では、「地域医療連携推進法人制度の創設」と「医療法人制度の見直し」に関する内容を盛り込んでいる。特に「非営利新型法人」と言われる地域医療連携推進法人制度は、今後の地域における医療機関相互の機能分担および業務連携を推進する転換点ともなるべき制度。少子高齢化で地域間格差が広がるなかで、地域の医療法人が一体となって効率的な

医療サービスを提供できる制度として注目を集めている。

「地域医療連携推進法人制度の創設」では、複数の医療・福祉施設が参加する非営利新型法人（非営利ホールディングカンパニー型法人）を導入する。参加法人の範囲は、事業地域範囲内における病院、診療所、または介護老人保健施設を開設する複数の医療法人その他の非営利法人としている。加えて、地域包括ケアの推進のために、事業地域範囲内で介護事業や地域包括ケアに係る事業のみを行う非営利法人についても参加法人とすることができる。

◆株式会社の設立・出資が可能

非営利新型法人は、医療法人等の横の連携を強化し、競争よりも協調を進めることを目的とするため、複数の医療法人等における統一的な連携推進方針（仮称）の決定を非営利新型法人の主な業務とする。業務内容は、病床の再編

（病床数の融通）、キャリアパスの構築、医師・看護師等の共同研修、医療機器等の共同利用、病院開設、資金貸付など。剰余金の配当は、現行の医療法人制度と同様に禁止し、役員については親族などの就任制限要件を設ける。

また、関連事業を行う株式会社への出資については、地域包括ケアを推進するため、非営利新型法人の設立趣旨の達成に必要な範囲内にある関連事業を行う株式会社に対しては、非営利新型法人側が意思決定を主導することを担保する観点から株式保有割合を一定割合以上とすることを条件に出資できるようになる。これにより、健康増進・予防サービス、介護予防などを目的とする事業を展開する株式会社を設立したり出資することが可能となる。

◆地域包括ケアの推進を

医師の偏在など地域医療を取り巻く環境は厳しい状況が続いている。これまで厚労省は、病院と診療所が機能分担して相互連携しながら効率的な医療サービスを提供する「病診連携」を推進してきたが、今回の地域医療連携推進法人制度が実現すれば、一つの法人として業務内容、資金調達、医師の配置などを一体的に行うことができるように

機能性食品等の有効性を示唆する記事を複写して、一般消費者へ配布したり、消費者向け媒体に転載することは、著作権法及び健康増進法、その他の関連法規に抵触する恐れがあります。

第一 改正の趣旨	第二 改正の要点
医療機関相互の機能の分担及び業務の連携を推進するとともに、医療法人について、貸付対照表等及び分割に係る規定を整備する等の措置を講ずること	1 都道府県知事の認定等 （一）地域において良質な医療を効率的に提供するため、医師・看護師等（以下「医療従事者」という。）及び介護老人保健施設（以下「病院等」という。）を有する医療法人（以下「医療連携推進法人」という。）を認定し、その業務（以下「医療連携推進業務」という。）の執行に当たって、当該医療連携推進法人が、当該医療連携推進業務の執行に必要となる事項（以下「業務執行事項」という。）を執行することができるものとする。

なる。

また、新制度の狙いは、「地域医療を活性化するとともに「地域包括ケア」を推進することにある。急性期から回復期、そして在宅介護といった医療・介護の連携もスムーズにいき、介護予防・認知予防を軸とする地域包括ケアの推進にもつながる。

地域包括ケアシステムを円滑に推進するうえで課題となるのは、医療や介護などのサービスを必要に応じて届けられる提供体制を整備することと、医師や福祉専門職などの連携だ。治療が必要な高齢者が病院に入院し、症状が改善した段階で早期に退院してリハビリを受けながら、再び自宅で生活できるようにする。そのためには自宅周辺や地域に通院・入院施設、通所・入所施設などの介護事業所の拠点を自治体ごとに整備する必要がある。医療介護総合確保推進法では、それを支える基金を創設し、都道府県は地域医療構想（ビジョン）を医療計画の中で策定することになった。地域医療連携推進法人制度は、地域医療構想を達成するための基盤整備と言える。

今月の主な内容

NEWS クローズアップ：

保険外サービスの範囲拡大……………2～3
アメリカ栄養療法の現状と課題（肥満症）……………4～5

特集：

健康寿命延伸と抗加齢医学……………6
統合医療最前線 4 回：大慈弥路之・福岡大学医学部教授……………7
エイジングケア関連製品……………8～11
特集：水素水……………12～13
ニュース……………14～15

医療人とメディカル・サプリメントの企業人の連携を推進する

日本統合医療普及推進協会 入会のご案内

日本社会は、少子高齢化が世界一のスピードで進み、様々な社会的矛盾が噴出しており、改めて、持続可能な医療・福祉制度の再構築が求められています。これからの日本医療の健全な発展のためには、統合医療の普及と定着は不可欠な課題であり、そのために、関連の業界人による幅広い連携が求められています。こうした取り組みの一環として、このたび「医療人とメディカル・サプリメント企業の連携推進」のための「日本統合医療普及推進協会」が発足しました。本協会の趣旨をご理解いただき、できるだけ多くの企業の皆様にご参加をお願い致します。また、統合医療をめざす医療人の皆様方にも、積極的にご参加いただき、「医療人と企業人の連帯」を強め、統合医療の普及と推進を進めてまいりたいと考えています。

お問い合わせは下記まで

特集：水素水

表参道首藤クリニックは、できるだけ薬に頼らず、「自己治癒力を高める、心と体に優しい医療」を目指している。高濃度水素水を用いた世界初の「水素温熱免疫療法」を取り入れ、2010年5月に開業した。同クリニックは水素温熱免疫療法に加えて「補完代替医療」、「心療内科」、「点滴療法」、「臍帯血幹細胞治療法」、「美容・アンチエイジング」などの自由診療も行っているが、今回は水素温熱免疫療法を中心に話していただいた。

水素温熱免疫療法とは、「高濃度マイクロナノバブル水素水を用いた液体式ハイパーサーミア（温熱療法）」のことである（通称「ハイドロ・アクアサーミア」）。これまで、温熱療法の「加温媒体」として、「40℃前後の高濃度マイクロナノバブル水素水」を安定供給させることは、技術的に困難だったが、同クリニックが採用した「高精度生体加温システム」は、世界初の独自技術でこの問題を解決した。

このシステムにより、高濃度水素水を用いた液体式ハイパーサーミア＝水素温熱免疫療法（ハイドロ・アクアサーミア）が可能になった。この療法に用いる「加温媒体（水素水）」のpHは中性であるため皮膚への有害性は皆無で、水素濃度も安定しているため高濃度水素水の持つ人体への恩恵を最大限に得ることができるのだという。

同クリニックでは水素温熱免疫療法＝ハイドロ・アクアサーミアの他に様々な水素療法（水素ガス吸入療法、水素点滴、水素水飲用）や、**その他の温熱療法（インディバCRet System）**のほか、様々な療法をラインナップしており、治

水素温熱免疫療法（ハイドロ・アクアサーミア） 表参道首藤クリニック 首藤紳介院長に聞く

療の相乗効果を狙っている。これらは、効率よく免疫力を高め、治療と体質改善をするためのもので、健康増進のみならず美容とアンチエイジングにも有効であるという。

水素温熱免疫療法では、高濃度マイクロナノバブル水素水の飲用、水素ガス吸入療法をおこない、さらに水素点滴を

併用することも可能で、がんに対してはあらゆるステージ・あらゆる部位のがんへの有益性が確認されている。

これらの組み合わせにより世界最高レベルの集中的な水素療法ができるのは同クリニックだけだという。

首藤紳介院長に聞く 水素温熱免疫療法の治療効果

——水素温熱免疫療法にはいつから取り組まれたのですか。

首藤 私自身が本格的に取り組み始めたのは、当クリニック開業時からです。ジェイヒットメディカル株式会社が十数年前に「液体式ハイパーサーミア・高精度生体加温システム」の開発をスタートさせました。研究開始から10年間で好成績をおさめたため、このマシンによる治療を「水素温熱免疫療法（ハイドロ・アクアサーミア）」と私が名付け、当クリニックをオープンさせました。

当クリニックは、このシステムを世界で初めて併設した施設です。2015年5月現在、稼働しているのは世界で1台、当クリニックにあるものだけです。

——水素温熱免疫療法について具体的にお聞かせ下さい。

首藤 この療法は、高濃度水素水を用いた全身温熱療法です。患者さんの体全体を効率的に温めることで、傷んだ細胞を修復するヒートショックプロテ

イン（HSP）が体内で活性化して免疫力が高まります。HSP活性は3日程度で下がる

ので、治療は週2回が目安になります。また、がん治療の場合は、本療法を1～2週間程度集中的に行い、その後1～2週間休む方法もあります。健康増進や美容目的では月1回～週1回程度を目安としています。

この温熱療法は他の温熱療法より体温が上がりやすく、平均約19分で舌下温が40℃を超えます。自宅のお風呂でここまで体温を上げるのは至難の業です。相当な体力を消耗し、心身へのストレスも大きいので、健康には逆効果になりかねません。

——水素温熱免疫療法で体温が上がりやすい理由をお聞かせ下さい。

首藤 熱いお湯が皮膚に触れると、体はその奥が酸化（ヤケド）するのを防ぐために「防火シャッター」を降ろしてしまいます（高温酸化防御反応）。皮下組織の血管が収縮して、皮膚表面だけの酸化で済まそうとするのです。普通のお風呂のお湯につかっても、体の芯まで

温まるのには時間が

かかります。だからと言って、45度以上の熱湯に長時間つかったりしたら、死んでしまいます。

しかし、水素水には還元力があるため、皮膚は「酸化の危険」を脳に知らせません。そのため皮下組織の高温酸化防御が起きにくいので、同じ42度でも効果的に身体内部まで熱が伝達します。

また、水素が皮膚から体内に入ることによって悪玉活性酸素を還元して、抗がん剤など、がんの三大治療の副作用を減弱させます。ほかに水素ガスの吸入や水素水の点滴、1日1～2本の水素水飲用などもやっています。また、水素水サーバーがほしいという患者さんには、パテントナビ株式会社の製品を紹介しています。

——水素の効果と統合医療について先生のお考えをお聞かせ下さい。

首藤 活性酸素を還元させる水素の効果は、がんや難病をはじめ多岐にわたっています。水素は2年くらい前まではまだ珍しいものでしたが、最近は普及が進んで認知度も高まりました。水素療法は、西洋医療や他の代替療法と組み合わせることで副作用を減弱させたり、治療効果を高めたりすることができます。これにより多くの方にとって治療の選択肢が増えるということになります。

また、近年は2人に1人ががんに罹患する時代に突入しています。がんの治

（13面に続く）



日本医療情報出版 調査報告第1弾：21世紀医療と健康食品の接点を探る！

「アメリカの統合医療と自然療法医」

最新レポート

著者：森 宏之（医学ジャーリスト） A4判 202頁 定価8,000円（税込）

アメリカの自然療法の現状、歴史、自然療法医の大会、医療用サプリメントなど

日本では厚生労働省が昨年「『統合医療』のあり方に関する検討会」を立ち上げる一方、自民党は政調の中に統合医療部会を設置し、マニフェストに統合医療を掲げるなど、サプリメントを含めた統合医療をめぐる動きが活発になっています。本レポートではアメリカの自然療法の現状、歴史、医師会の大会などを通じて、統合医療先進国のアメリカの全容を報告します。

株式会社 日本医療情報出版

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-5-3 倍楽ビル新外神田5F

TEL:03-5688-7816 / FAX:03-5688-7803

ㄴ (12 面から続く)

療は、これまで 3 大療法(手術、抗がん剤、放射線)がメインでした。私はそれに対し、「がんの新 5 大療法」を提唱しています。それは、「対症療法」とその他の 4 つの療法からなります。

- ・「対症療法」…手術、抗がん剤、各種放射線療法、各種免疫療法、カテーテル動注療法など
- ・「抗酸化療法」…水素療法、高濃度ビタミン C 点滴、αリポ酸療法、グルタチオン療法など
- ・「温熱療法」
- ・「体質改善療法」…食事、運動、良質な睡眠、解毒、デトックス、サプリメントなど
- ・「メンタル療法」…ストレスマネジメント

まずは「対症療法」をして時間稼ぎをします。同時に抗酸化療法や温熱療法を併用しながら免疫力を高め、体質改善療法とメンタル面のメンテナンスをします。このように、患者さんのがん体質を改善しながらがん病巣のコントロールをすれば、治癒率の向上と再発率の低下に役立ちます。

——他にはどんな組み合わせがあるのですか。

首藤 これからの医療では、オーダーメイド医療と呼ばれるような、個人個人で異なる治療の組み合わせが重要になってくると考えています。

例えば、私のクリニックでは、個々の体質改善のための様々なドクターズサプリメントも扱っています。また、より

効率的に体の深部やがん局所の加温ができるインディバ CRet System を使用した「局所高周波温熱療法」もあります(インディバの施術は私自身がやっています)。その他、「高濃度ビタミン C 点滴」などの各種点滴療法、注射やサプリメントの服用による「免疫療法」、「コロイドヨード療法」、「重水素減少水療法」、「臍帯血幹細胞療法」、「遺伝子治療」、「漢方」、「鍼灸」、「整体」などを患者さんの状態に応じて提案しています。

——最後に一言お願いします。

首藤 水素療法は、病気予防、健康増進、アンチエイジングに確かな効果を持っています。副作用もなく大変有用な治療法、健康法であると考えています。このような安心な予防法や治療法がひろがり、患者さんの選択肢が増えること

を願います。そして、医療を通じて、皆さんが健康で幸せな人生を送るお手伝いができたら何より光栄です。

●プロフィール

首藤紳介(しゅとう・しんすけ)

愛知医科大学卒業。小児科医として、大学病院や民間病院の救急外来などで現代医学を研鑽。自身のさまざまな経験から、薬だけに頼らず、自己治癒力を高め、健康と美を保つための医療を目指すようになる。

2010 年より湯島清水坂クリニックに勤務。在宅訪問診療なども経験する。水素療法や伝統的な補完代替医療、最先端の統合医療など、更なる可能性を求め 2013 年 5 月より表参道首藤クリニックの院長を務める。

医療機関や薬局に広がる「ハイブリッド H2 サーバー」 20,000ppm の高濃度水素水が活性酸素を除去

水素は、さまざまな疾病の原因とされる活性酸素を還元する酸化ストレス抑制作用で、老化や生活習慣病の予防・改善に大きな力を発揮する。日本水素水振興協会の正会員企業であるパテントナビの「ハイブリッド H2 サーバー」は 20,000ppm の高濃度水素水が給水でき、医療機関や薬局、スポーツ施設での採用を増やしている。

水素はさまざまな疾病の原因とされる活性酸素を還元する酸化ストレス抑制作用により、老化や生活習慣病の予防・改善に大きな力を発揮する。水素の生体への健康効果に関する論文も多数発表されている。

水素水摂取による糖尿病抑制、水素水摂取による糖・脂質改善、水素ガス吸引による心筋梗塞・再灌流による梗塞部位の障害軽減、水素水摂取による肝臓障害抑制、水素水飲用による腎臓・心臓の炎症抑制、水素水摂取によるパーキンソン病の発生抑制、水素水摂取による高血圧改善・動脈硬化予防、水素ガスによる認知機能低下の予防、歯科治療における水素水による抜歯後の治癒の促進、水素水摂取による内耳障害の保護、水素水の活性酸素除去による抗腫瘍効果・ハイパーサーミア併用効果などである。

ほかにストレス軽減やアレルギーの改善、唾液欠損症の改善などに対する効果も発表されている。さらに、成人病やがんの発生要因とされる活性酸素、特にヒドロキシラジカルに対して、消去能があることも分かっている。また、水素水は肌のシワや美白にも有効であるとの論文も発表されている。

水素水が認知度を高めるきっかけとなったのは、2007 年に日本医科大学の太田成男教授が、水素には活性酸素を除去し、脳梗塞による脳の損傷を半分に減らす効果があることを動物実

験で確認し、英科学誌「ネイチャー・メディシン」に発表したことである。水素水だけでなく、水素サプリメントも多くの商品が市場に出てきた。

しかし、水素水にも大きな問題がある。実際にどれだけの水素が含まれているかという溶存水素量の維持である。分子量の小さい水素はアルミ缶やアルミパウチの容器でも抜けやすく、ペットボトルではなおさらだ。水素水は大抵、水に水素ガスを充填して作られるが、時間の経過とともに水素が抜けてしまうのである。数年前には一部企業の製品の溶存水素量が極端に少ないことが大きく報道された。

水素水産業の将来が危惧され、業界からの要望もあり、「日本水素水振興協会」が設立された。設立趣旨は、水素水製品について消費者の不安や混乱を解消し、国民生活の向上に寄与すること、これからますます伸展する可能性のある水素水市場をより健全な方向へ発展させることで、理事長に富山医科薬科大学(現富山大学)名誉教授の田澤賢次氏、専務理事に東アジア機能性イオン協会事務総長・中国国家飲用水産業委員会顧問の江川芳信氏、理事に大阪物療大学教授・県立広島大学名誉教授の三羽信比古氏が就任している。

同協会では、水素水製品自主認定制度も実施している。一部企業の製品は溶存水素量が極端に少ないことが判明したため、消費者の不安や混乱を解消し、国民生活の向上に寄与するとともに、水素水のより健全な発展を図るために溶存水素量を評価し、認定することを目的としている。

ハイブリッド H2 サーバー

溶存水素の問題を解決したのが、作りたての水素水を摂取することができる水素水サーバーである。そのため、医療機関や薬局、スポーツ施設などで設置が増えている。日本水素水振興協会

の正会員企業であるパテントナビ(神戸市灘区、電話 078-871-3450)の水素水サーバー「ハイブリッド H2 サーバー」も医療機関や薬局、スポーツ施設での採用を増やしている。

同製品の最大の特徴は、溶存濃度にこだわらず、水を電気分解しながら瞬時に 20,000ppm の水素ガス分子を水といっしょに体内に入れることを目的とする、他にない水素水サーバーであることだ。作りたての水素水は白濁した水素が見える。この 20,000ppm という水素ガスの濃度は、太田成男教授がネイチャー・メディシンに「脳梗塞による脳の損傷を半分に減らす効果があること」を発表したときの試験で使った水素ガスの濃度と同じである。

もう一つの特徴は「給水タンク式」と「水道直結」のハイブリッドであることだ。そのため、電源さえあれば場所を選ばず水素水の給水ができる。また、ガロンボトルやペットボトルのナチュラルミネラルウォーターを使って高濃度水素水を作ることでもできる。一方、水道直結でも水道水の塩素や臭いを除去し、連続で水素水が給水できるのだ。

また、持ち歩きができ、外気を吸い込まない逆止弁付きの水素水専用容器「SS バック」や鼻腔洗浄や洗眼用の「リフレッシュバック」などのオプション品も取り揃える。

IC カード対応水素水サーバーによる「健康サーキットプログラム」を提案

同社は、IC カードに対応した、高濃度水素水サーバーと、電位治療器、靴下を履いたまま入れる足湯を活用した「健康サーキットプログラム」の提案を進めている。

IC カード対応型水素水サーバーは、20,000ppm の水素ガス発生装置が付いた水道水直結タイプのサーバーで、トリハロメタン・塩素などを除去する浄水機能付きで、冷水(4~10℃)にも温

水(80~90℃)にも対応する。この高性能水素水サーバーに、IC カードによる 30 日間有効システムを導入し、会員制運用システムを付加する。

健康サーキットプログラムは、IC カードとカードリーダーを使用するだけで、高濃度水素水サーバーだけでなく、高周波電位治療器「Dr. ハイブリッド」、遠赤セラミックボールを使用した濡れない足湯「おもてなし足湯」が利用できる、健康生活を実現できるプログラムである。

IC カードリーダーは、顧客の氏名、住所、電話番号、年齢、チャージ履歴、使用回数履歴、来店回数履歴などをパソコンで管理することができる。さらにパソコンとの接続により、顧客の健康状態などを入力することもできる。

顧客が POS レジでカード代、チャージ代金を支払うとカードが発行され、IC カードリーダーにタッチすることで利用できる。

Dr. ハイブリッドは、マイナス電位と 5400Hz の高周波電位を組み合わせた電位治療器で、身体のバランスと健康改善を促し、頭痛、肩こり、不眠症、慢性便秘などの予防に効果がある。世界最小クラスの小型・軽量と簡単操作を特徴とする。

おもてなし足湯は、お湯の代わりに遠赤セラミックボールを使用しており靴下を履いたままでも入れるため、清潔でメンテナンスも簡単だ。厳選された天然岩盤石「温光石」を使用し、お湯代わりのセラミックボールとともに遠赤外線を放射する。

健康をキーワードに集客の増加が見込まれる同プログラムは、医療機関や薬局、スポーツクラブ、企業の福利厚生などで新たな利用が期待されている。

